

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	25353	
事業名	中央図書館大通カウンター運営費						
評価担当課	所属名	教)中央図書館 利用サービス課					
	課長名	今堀	担当者名	安達・卯都木	電話番号	011-512-7320	
施策名	主	-					
	副						
アクションプラン	<input type="radio"/> 対象 <input checked="" type="radio"/> 対象外		戦略ビジョン	<input type="radio"/> 対象 <input checked="" type="radio"/> 対象外			
事業の性質	<input checked="" type="radio"/> 経常経費 <input type="radio"/> 臨時的経費						
	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 法定経費 <input type="radio"/> 指定管理						
事業内容	実施形態	<input type="radio"/> 直営 <input type="radio"/> 一部委託 <input checked="" type="radio"/> 全部委託 <input type="radio"/> 補助助成 <input type="radio"/> その他					
	目的	短期	利用者からの意見等も取り入れながら、改善点等を検討し、さらなるサービスアップの向上を図る。				
		長期	都心部における図書館サービス利用に対する利便性の向上を図る。				
	取組内容	都心部における図書館サービスの展開によるサービスアップ 運営は委託により実施し、必要なサービス確保に向けたサポートを行う 図書カウンター運営に係る指導、及び各図書施設との連絡調整					
	実施結果	年間の貸出冊数・予約冊数は、新型コロナウイルス感染拡大防止による図書館休館に伴い減少となったが、開館日での平均貸出冊数は、増加傾向であることから、都心のサービスポイントとして多くの市民に堅調に活用されていると考える。また、業務委託により効率的な運営を行うとともに、受託業者と密な連絡体制を維持している。					
事業実施における工夫点	受託業者との定期的な連絡会議等により運営の改善を進めている。						
対象者	市民、市内に通勤・通学している他市町村民			開始	0 年度	終了	0 年度
関連法令・条例・要綱等	図書館法・札幌市図書館条例・札幌市図書館条例施行規則						
他都市の状況	姫路市「すまいるステーション」						

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	13,694	16,000	12,684	16,000	
うち特定財源	0	0	0	0	
人工	0.3	0.3	0.3	0.3	
人件費	2,160	2,160	2,160	2,160	
計(事業費+人件費)	15,854	18,160	14,844	18,160	
事業費の内訳	令和3年度決算	電気料(按分)131千円 通話料(按分)86千円 運営委託費 11,975千円 機械警備委託料 182千円 ・ 機械警備カード管理委託費 92千円 その他大通カウンター運営に係る経費 218千円			
	令和4年度予算	電気料(按分)141千円 通話料(按分)96千円 運営委託費 15,294千円 機械警備委託料 183千円 ・ 機械警備カード管理委託費 113千円 その他大通カウンター運営に係る経費 173千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	開館日数(日)		
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
	317	359	290	359
活動指標2	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
成果指標1	指標名	貸出冊数(冊)		
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
	202,792	300,000	184,498	300,000
成果指標2	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
項目	判定	理由		
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	貸出冊数が前年度比約9%減と減少したのは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための図書館休館の影響であるが、開館日の平均貸出冊数では増加していることから引き続き都心部のサービスポイントとして重要な役割を担っていることが伺える。これには、これまでに整備した利用者向けサービス向上(利用時間延長、返却ポストの設置等)の効果が表れている。		
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	利用者に対し適切な人員体制及びスペースを確保している。		
事業の実手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	業務委託により効果的な運営を行っている。受託業者と必要に応じ随時連絡を取り合うことにより、適宜運営の改善を進めている。		
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	アクセスの便利な都心部において図書館サービスを展開することにより、設置以降利用規模は減少することなく伸びており、地下歩行空間の開設や、大交通拠点の整備等により市民が集う場として発展し続ける大通り地区にあって重要な事業となっている。		
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外 市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映			
今後の改善点	利用者増となった場合、適正な誘導表示の設置や受付の待ち時間の縮小などが課題となるため、委託者として今後も受託者と密に連携を取り合いながら管理指導をしていく。			
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし			
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0 千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし			
評価の理由	業務委託により事業を実施することで効率化を図るとともに、開設以降現在においても利用件数は拡大傾向にある。			
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 利用者増となった場合、適正な誘導表示の設置や受付の待ち時間の縮小などが課題となるため、委託者として今後も受託者と密に連携を取り合いつつ管理指導をしていく。		
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 取扱量が増加となった場合、十分なスタッフの確保や誘導表示の設置等が必要となるため、それに要する予算の確保が重要である。		見直し効果額 0 千円